



令和7年度 第42回 公益財団法人 日本中学校体育連盟 設立70周年記念研究大会

愛知大会

令和8年1月15日(木)・16日(金)
名古屋クラウンホテル



主催／(公財) 日本中学校体育連盟
東海中学校体育連盟・愛知県教育委員会
名古屋市教育委員会
主管／愛知県中小学校体育連盟
後援／スポーツ庁・全日本中学校長会
愛知県小中学校長会・
名古屋市立小中学校長会
(公財) 日本教育公務員弘済会愛知支部





挨拶

(公財)日本中学校体育連盟

会長 青海 正

(公財)日本中学校体育連盟設立70周年記念・令和7年度第42回公益財団法人日本中学校体育連盟研究大会愛知大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

開催地となる愛知県名古屋市は熱田神宮を中心に中世以前から栄え、徳川家康が名古屋城を構えたことで城下町として大きく発展してきました。また、芸どころ名古屋とも言われ、歌舞伎や能楽も有名であり、個性的な食文化は訪れる人々を楽しませてくれます。この魅力溢れる愛知県名古屋市で本研究大会が開催できますことを大変嬉しく思うと同時に、本大会を共催していただきました愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、東海中学校体育連盟、そして御後援を賜りましたスポーツ庁、全日本中学校長会、愛知県小中学校長会、名古屋市立小中学校長会、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部の皆様にご礼申し上げますとともに、主管されます愛知県中小学校体育連盟の皆様の御尽力に心より感謝申し上げます。

さて、今日情報化の急速な進展により、社会が大きく変化する中で、AIなどの技術革新が進むSociety5.0という新たな時代に対応するため、学校教育も変革が求められています。特にスポーツ面では、運動部活動を取り巻く環境が日々変化し、大きな波が押し寄せています。行政が主体となって地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革が推進される中、部活動の地域展開を積極的に推進するケースも増え、当連盟では地域クラブ活動の全国中学校体育大会への参加を緩和していくことで子供たちの活躍の場を保障してきました。また、大会規模・運営そのものについても令和9年度より大きく見直すこととなり、今年を、持続可能な全国中学校体育大会改革への出発点とも捉えています。

当連盟はこれまでも全国中学校体育連盟としての33年の歴史を踏まえ、平成元年2月に発足以来、長きにわたり中学生の心身の育成、体力の増強及び体育・スポーツ活動の振興を目的として活動して参りました。その活動の大きな柱の一つが今年42回を迎えるこの研究大会になります。「豊かなスポーツライフの実現に向けて～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」の研究主題のもと、今回の愛知大会でも各都道府県の先進的事例や課題を集約し、講演・シンポジウム・四つの分科会内での活発な意見交換から、新たな指針となる提案が行われるものと期待をしております。今後もチーム中体連としての共通理解のもと、都道府県中学校体育連盟の皆様には改めてお力添えをお願い申し上げます次第です。

結びに、本研究大会の開催に向けて数年前より御準備いただきました愛知県中小学校体育連盟の皆様にご敬意を表するとともに、本研究大会の成功と全国から参加されております会員の皆様の益々の御活躍を祈念し、大会の挨拶といたします。

令和7年度第42回（公財）日本中学校体育連盟
設立70周年記念研究大会愛知大会開催要項

- 1 趣 旨 （公財）日本中学校体育連盟（以下、本連盟という）は、本連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題およびこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向等について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会とすることにより、生涯スポーツの充実・発展を資するために、（公財）日本中学校体育連盟研究大会を開催する。
- 2 主 催 （公財）日本中学校体育連盟 東海中学校体育連盟 愛知県教育委員会
名古屋市教育委員会
- 3 主 管 愛知県中小学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 愛知県小中学校長会 名古屋市立小中学校長会
（公財）日本教育公務員弘済会愛知支部
- 5 日 時 令和8年 1月15日（木）第1日目 12：45～17：00
1月16日（金）第2日目 9：00～11：30
- 6 会 場 名古屋クラウンホテル
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1丁目8-33
Tel：052-211-6633 Fax：052-211-4412
- 7 参加対象 （公財）日本中学校体育連盟に加盟している都道府県中体連から8名以内とする。
但し、特別賛助会員は、各社、各分科会に2名以内の参加を認める。
- 8 研究主題とその内容
 - (1) 研究主題 「豊かなスポーツライフの実現に向けて」
～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～
 - (2) 内 容
 - ① 全体会
 - A 講 演
演 題：「 伝統を守りながら時代に応じて変わり続けることの重要性 」
講 師： 山本久美 氏
株式会社エスワイフード（世界の山ちゃん）代表取締役
 - B シンポジウム
協議題：「 豊かなスポーツライフの実現に向けて
～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～ 」
 - コーディネーター
厚芝 智行 氏 IT会社勤務・元テレビ信州アナウンサー（「news every.」など担当）
 - シンポジスト
長瀬 基延 氏 江南市立布袋中学校教頭・日本部活動学会事務局次長
縄田 亮太 氏 愛知教育大学准教授・愛知県バレーボール協会指導普及委員
野尻 政徳 氏 下呂市教育委員会学校教育課対策監
五藤 和希 氏 東邦ガス株式会社事業開発部（自治体ソリューションチーム）・部活動改革支援サービス担当

② 分科会

次のテーマごとに分科会を設け、パネルディスカッション形式により研究発表及び研究協議を行う。研究発表が割り当たっている当該中体連の発表者はパネリストとなる。

第1分科会 (中体連の組織・運営)

- 「中体連の組織及び競技会の在り方とその運営」
- ・望ましい中体連組織の運営及び諸課題への対応
 - ・望ましい競技会の運営及び諸課題への対応
 - ・地域クラブ活動の競技会参加への対応

第2分科会 (育成・健康安全)

- 「豊かな心と健やかな体を育む運動部活動」
- ・生徒の主体的・協働的な力を育む運動部活動の運営
 - ・意欲を喚起させる運動部活動経営
 - ・競技力向上や健康体力の保持増進を目指した運動部活動
 - ・運動部活動における健康安全管理
 - ・生涯にわたって主体的に運動・スポーツに親しむ生徒の育成

第3分科会 (連携)

- 「連携でつくる運動部活動」
- ・学校教育活動との関連・連携による運動部活動の活性化
 - ・地域単位で支える運動部活動運営の在り方
 - ・部活動指導員及び外部指導者の活用と連携
 - ・運動部活動の地域移行における関係諸機関及びスポーツ団体との連携・協力の在り方

第4分科会 (課題対応)

- 「当面する運動部活動の諸問題」
- ・生徒減少期における運動部活動の在り方
 - ・指導者の資質向上
 - ・持続可能な学校運動部活動の運営
 - ・拠点校部活動(合同チーム)における活動の実際

9 日 程

第一日	10:00	12:00	12:45	13:25	14:45	14:55	16:55	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打合会 (機器調整を含む)	受 付	開 会 行 事	講 演	休 憩	シ ン ポ ジ ウ ム	諸 連 絡 等	

第二日	8:45	9:00	11:20	11:30
	受 付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)	次 年 度 挨 拶	閉 会 行 事

10 発表者及び提出資料

(1) 研究発表担当都道府県及び順序(発表時間15分程度)

形式	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
研究発表 (パネリスト)	北海道 中国・島根	四国・香川 九州・鹿児島	関東・群馬 近畿・兵庫	東北・青森 北信越・福井
紙上発表	東海・静岡	東海・愛知	東海・三重	東海・岐阜
指導助言者	(公財)日本中学校体育連盟			
	東海・静岡	東海・愛知	東海・三重	東海・岐阜
司会者	東海・静岡	東海・愛知	東海・三重	東海・岐阜
運営責任者	実行委員会(愛知県中小学校体育連盟)			
記録者	実行委員会(愛知県中小学校体育連盟)			

(2) 提出資料の種類

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - ・分科会の研究主題に基づいた実践研究の成果
- ② その他
 - ・都道府県または学校の優秀な資料

(3) 提出資料の取り扱い

上記①・②の各資料を研究紀要としてまとめ、各都道府県中体連・司会者・助言者等には事前に送付する。

(4) 提出資料の作成要領

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料

資料は、分科会ごとの研究テーマに沿って各都道府県中体連で特に解決を迫られている課題、かつ将来的にかかるべきとする提言等について、具体的な案をまとめて作成する。分科会のサブテーマとして、挙げられているものの中から選ぶか、それに関連するテーマを独自に取り上げてよい。
- ② その他
 - ・提出原稿
 - ワープロソフト「Word」を使用する。
 - ワープロ規格A4版（横40字×縦36行）により、4枚にまとめる。
 - 発表のプレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を使用する。
（原稿・資料のデジタルデータを送付する）
 - ・研究物、資料があれば別途提出する。
 - ・提出原稿の図表等は明瞭なものにする
 - ・大会終了後、研究紀要等を（公財）日本中学校体育連盟のホームページに掲載する。

(5) 提出方法

- ① 発表者の報告 令和7年 8月29日（金）
- ② 原稿提出期日 令和7年10月27日（月）
- ③ 提出先 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄一丁目49番10号
愛知県教育会館内
愛知県中小学校体育連盟 事務局
Tel 052-251-8114 / Fax 052-251-8114
E-mail aitairen@image.ocn.ne.jp

11 参加申込及び参加費

- (1) 申込方法 ※申込フォームより Web 申込を行う。
- (2) 申込締切 令和7年10月31日（金）
- (3) 申込先 別紙申込要項による
- (4) 参加費 一人 6,000円

12 その他

- (1) （公財）日本中学校体育連盟研究部会の開催
 - 日時 令和8年1月14日（水）14：00～16：00
1月15日（木） 9：00～10：00（予備）
 - 会場 名古屋クラウンホテル
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1丁目8-33
Tel：052-211-6633 Fax：052-211-4412
- (2) 宿泊については、別紙宿泊要項による
- (3) 医療、救護については別紙記載

基 調 報 告

第42回（公財）日本中学校体育連盟
70周年記念大会愛知大会実行委員会

会長 山 田 善 申

学校部活動は学校教育の一環として、競技や活動を通じて、運動能力・体力、リーダーシップやコミュニケーション能力、さらには困難に立ち向かい、挫折を乗り越えるための力を育むなど、自己の成長の場として、中学生にとって大きな役割を果たしてきました。しかし、昨今、少子化や教員の働き方改革の影響を大きく受け、学校部活動の在り方の見直しが求められています。子供たちの成長の場は、学校だけでなく、地域社会を含めた、多様な環境や価値観の中で、育まれていくことが考えられます。

本連盟は、今年、設立70周年を迎えました。1955年、戦後の日本における教育改革と社会変動の中で、中学生の健全な心身の発達と体育・スポーツ活動の振興、全国的な大会の開催と運営、スポーツ文化の継承と国際交流を目的に設立されました。子供たちの教育やスポーツに関わる環境が大きく変動していく今だからこそ、本連盟の目的を忘れることなく、日本中学校体育連盟を中心に、各都道府県中学校体育連盟が互いに力を合わせて、この難局を乗り越えていく必要があります。

今大会の研究主題は5年目を迎える「豊かなスポーツライフの実現に向けて～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」としています。講演会やシンポジウムの中で、専門的な知識や見解を聞かせていただいたり、分科会では各都道府県の異なった環境での取組や実践事例を発表していただいたりする中で、情報交換や意見交流を行います。それらを通じて、今後の運動部活動の在り方や豊かなスポーツライフの実現に向けて、考える場にしたいと考えております。

結びに、本研究大会が、(公財)日本中学校体育連盟の発展はもとより、運動部活動に携わる多くの方々の飛躍につながることを祈念いたしまして、基調報告とさせていただきます。